

**本質的な問い** 私たちは地域とどのように関わり、どう生きていくのか

**単元名** 「地域と関わる」～防災カレンダー作成を通して～

**児童生徒の実態**  
 本学年の生徒は、これまでの学習で、課題解決に向け、進んで資料や情報を集めたり、班で話し合い、自分の考えをもって交流したりして、考えを深めることができつつある。一方、次への学習へつなげていくことに対しては課題があることから、調べたことを基にしてさらに自ら学びを深めていくための手立てが必要であると考え。

**目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）**  
 地域の一員として、例えば災害発生時の避難をともにするなど、生徒一人一人が、地域との関わりや生き方について考えをもって行動することができる。  
 （「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「自立・郷土愛」）

**単元を貫く問い** 地域と関わっていくために、自分たちは何ができるだろうか  
 【探究課題 防災のための安全な町づくりに取り組んでいる人々】

**【第3次】（ 4時間）**  
**課題** 川尻町の方々と関わって生きるために自分たちは何ができるだろうか

**個別の問い**

- ・どのような気持ちを込めて「防災カレンダー」を渡すのか。
- ・地域で働く方々や、高齢者の方々に伝えたいこと、伝えなければならないことは何か。
- ・地域の方々と交流に必要な礼儀作法はどのようなものか。
- ・今後地域の方々と関わっていくにはどうしたらいいだろうか。

地域の方々との交流

地域の方々との関わり

（しかけ）  
 【 探究的な学びにつながる地域の人・もの・ことの活用③ 】  
 民生、児童委員の方々と打ち合わせをし、「防災カレンダー」をどのように配布するか考えた後、実際に地域に出向き交流する。

**【第2次】（ 14時間）**  
**課題** 自分たちは川尻町の方々と、どのように関わっていけるだろうか。

**個別の問い**

- ・地域の方が中学生に望むことに対して、自分たちにできることは何だろうか。
- ・「水墨画カレンダー」をよりよいものにできないだろうか。
- ・「防災カレンダー」には具体的にどのような情報が必要になるだろうか。
- ・川尻中学校全校生徒を巻き込むためには、どうしたらいいだろうか。

防災カレンダー

防災標語

（しかけ）  
 【 探究的な学びにつながる地域の人・もの・ことの活用② 】  
 川尻町在住の日本画家を招き、「防災カレンダー」に載せるための絵手紙を描く指導をして頂く。

地域の人材との関わり

**【第1次】（ 2時間）**  
**課題** 川尻町の地域の暮らしに問題はないのだろうか。

**個別の問い**

- ・川尻町の地域の暮らしで心配なことはあるか。
- ・過去の歴史から、今後心配される問題って何だろうか。
- ・先輩方が行ってきた地域のボランティア活動を受け継ぎ自分たちにできることはないだろうか。

地域の方が中学生に望むこと

地域の人材との関わり

（しかけ）  
 【 探究的な学びにつながる地域の人・もの・ことの活用① 】  
 単元の導入で、民生委員・主任児童委員の方より、川尻町で起こった過去の災害、川尻中学校生徒との関わり、地域の方の思いを聞く。

**見直しポイント**

**探究的な学習の過程に沿った単元構成**

- ①単元を通して、資質・能力を育成する「探究課題」等を設定しているか
  - ・解決の道筋がすぐには明らかな課題や、一つの正解が存在しない課題となっているか。
  - ・児童生徒が日常生活や社会に目を向け、解決したいと思える課題となっているか。
- ②児童生徒の思考を想定し、効果的な過程になっているか
  - ・活動をこなすだけになっていないか。
  - ・児童生徒から問いを生み出すしかけがあるか。
  - ・学習したことを表現する場を設定しているか。
- ③サイクルとサイクルのつながりがスムーズとなっているか
  - ・第1次だけで構成していないか。
  - ・第1次のまとめと第2次の課題設定がつながっているか。